

2016年12月～2017年12月に

「女性人工股関節全置換術患者の術前後の歩容の 自己評価モデルの開発：構造方程式モデリングを用いた分析」

のアンケート調査にご協力いただいた皆様へ

2015年11月～2016年4月に

「女性変形性股関節症患者の術前後の歩容の 自己評価と心理社会的側面の検討

—人工股関節全置換術患者と低侵襲寛骨臼骨切り術患者の比較—

のアンケート調査にご協力いただいた皆様へ



私たちは、股関節に疾患を持つ患者さまが不安や心配なく社会生活を送るためには、「患者さまが**自分の歩く姿の見た目をどう思っているか**」を知ることが大切だと考え、2つの研究を行いました。

その結果、「自分の歩く姿の見た目をどう思っているか」ということが、社会生活を送るための気持ちに影響することや、それが手術方法や、手術前と後で違うことが分かりました。

以上から、「**自分の歩く姿の見た目をどう思っているか**」というお気持ちを大切に看護することで、患者さまに自信をもって社会生活を送っていただけるように支援していきたいと思えます。



松本智里，加藤真由美，兼氏歩，他（2020）：女性人工股関節全置換術患者の術前後の歩容の自己評価モデルの開発：構造方程式モデリングを用いた分析，日本看護科学会誌，40，177-186.

松本智里，加藤真由美，兼氏歩，他（2018）：女性変形性股関節症患者の術前後の歩容の自己評価と心理社会的側面の検討—人工股関節全置換術患者と低侵襲寛骨臼骨切り術患者の比較—，日本看護科学会誌，38，309-317.

このような結果がまとめられましたのも、ご協力いただきました皆さまのおかげと深く感謝しております。本当にありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。

アンケートに参加された方で、公表された論文をお求めの方は、お名前・ご住所をご記載の上、下記のメールアドレスにご送信ください。ご記載された住所に郵送いたします。

石川県立看護大学 松本智里

E-mail : chima23@ishikawa-nu.ac.jp

